

学校だより3月臨時号

平成27年3月24日
(2015年)
茨木市立耳原小学校
茨木市耳原 2-20-55 (Tel) 641-1900



本年度の課程修了、おめでとうございます

3月19日に卒業式を無事挙行了いたしました。6年間の成長、たくさんの思い出がつまった卒業証書を手し、104名の卒業生が巣立ちました。本日24日は修了式。どの学年も、それぞれ成長した姿があります。保護者の皆さまには、一年間温かいご支援ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

「まあ、ええんちゃう…大阪人のよさ」

「大阪人」という言い方は適切ではありませんが、最近「大阪らしさ」(よい面もそうでない面も含めて)ということをよく見聞きます。テレビでも、府県別に出身県民タレントがお国言葉や食文化などを取り上げ、そのよさをアピールしている番組がありますが、隣同士の府県でも習慣が大きく違ったりするのだと感心してしまいます。さて当の大阪ですが、ある雑誌で「わたしが嫌いな県民全国1000人アンケート」なるものを実施したところ、圧倒的に1位が大阪だったというのです。せっかくアンケートをとるなら「好きな県民」にしてほしいものですが、これだけを見ると大阪のイメージはどうもよくないようです。マスコミの一方的な取り上げ方も一つの原因と考えられますが、大阪には、よい面がいっぱいあると思うのです。

相愛大学で「現代大阪論」を教えている前垣和義教授は、「商人のまちやから、口が達者で笑いを武器にする。人を笑わせて、それを見て自分も笑う。サービス精神が大阪人のよさ。」と述べています。ある新聞の大阪を題材にした特集では、「大阪の個性を一言で表すなら『融通無碍』…異なったものが相互に溶け合い、自由に通ずること—それおもしろい、これもおもしろい。まあ、ええんちゃう、と。ええかげんなようその実は上手に状況に対応し、何でもありと多様性を重んじる。」と分析しています。

人を喜ばせることを大事にしながら、いろんなものを認め仲良くしていけるのが大阪のよき府民性ということでしょうか。一事を捉えて全体もこうだと決めつけるのはよくないことですが、長年培われてきたよい習慣や伝統は受け継いでいきたいものです。せっかちで厚かましくコテコテと言われる面もありますが、実は人情にあつく、人にとっても親切と言われる面もある大阪…大阪生まれの私が言うのもなんですが、とても好きです。

(校長 森田 修)



6	月	入学式前日 *新2・6年登校
7	火	入学式 "
8	水	始業式
10	金	2~6年給食開始
13	月	創立記念日(学校はお休みです。)
15	水	1年生を迎える会
17	金	1年給食開始 参観懇談 4~6年
20	月	参観懇談 1~3年(1年給食参観の予定)
21	火	6年全国学力テスト
24	金	校外学習

3/8(土) PTA年度末総会

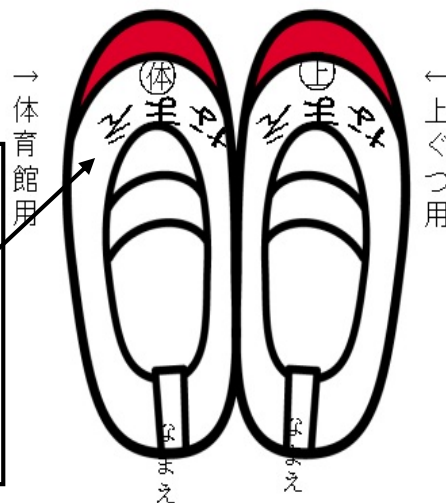


年度末総会がありました。役員・委員の皆さまを中心にたくさんの方々が出席され、一年間の活動の締め括りをしました。今年度も多くの活動にご協力いただき、学校を温かく支えていただき、深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

新学期の準備をお願いします

①今年度より、上ぐつ・体育館シューズの名前の書き方を右のように全校統一しています。自分の名前を相手に知ってもらうことを目的としています。春休み中に、油性マジックで分かりやすく書いてください。名前は前・後ろ2カ所です。前部分は、相手に向けて書いてください。

②新年度に使うノートの購入をお願いします。



3/19(木)卒業証書授与式
一人ひとりが感謝や未来の決意のことばを述べ、卒業証書をしっかりと受け取りました。



式の最後に卒業生全員が巣立ちのことばを述べ、「旅立ちの日に」などを合唱しました。みんながやりきった、清々しい卒業式でした。